

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム らいく古賀店		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 27日		令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 27日		令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1の個別指導の形態で行われる、OTやST、保育士、児童指導員による専門的な支援の実施。	保護者の方からの詳細な聞き取りに加え、J-MAP、LCSA言語コミュニケーション発達スケール等、必要に応じたアセスメントを実施し実態に即した支援を行なうようにする。	職員研修を充実させて最新の知見の収集に努め、より専門性の高い支援が実施出来るようにする。
2	1対1の個別指導で、基本送迎は保護者が行うという形態であるため保護者からの相談に随時対応することが出来る。	来室時に相談された事柄については、なるべくその日の活動の中に解決に向けた内容を盛り込むなどして、即座に対応できるように努め、指導後に相談されたことに関しては家庭での対応方法をお話したり、次の指導日の課題として準備したりしておくようにする。	家庭での困り感の軽減に向けて、保護者や利用児の様子に気を配り、常に相談しやすい雰囲気を作るように留意するとともに、相談してよかったと思ってくれるような対応ができるように、子どもの発達、生活全般に渡る支援方法について検討する機会を増やす。
3	OTやSTにより行われる保育所等訪問支援の実施	保護者の方からのご希望や心配事等について詳細に聞き取り、在籍園や学校と共有すべきアセスメント等の情報を準備した上で訪問する。また、効果的だと思われる教材教具や環境調整について、具体的にお伝えできるよう努める。	在籍園・学校の要望により適切に対応できるように、連絡体制の整備を進める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ブレイルーム等指導室のスペースが狭い。	指導形態が1対1の個別指導であるということを鑑みて、建物自体の広さは、当初の予定では適切だと考えていたが、高学年の在籍児童が増え、活動内容が多岐に渡るようになった現在では手狭に感じられる方もおられるようになってきた。	広いスペースを必要とする、大きく体を使った遊びを実施する際は、公民館を借りるなど、地域の資源を活用していくことを検討する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果 【児童発達支援】 令和7年度

事業所名 良創発達支援ルーム らいく古賀店

公表日 令和8年 3月 31日

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		現在のスペースでお子様方に満足して頂ける活動が提供できるように、工夫を凝らしながらプログラムを考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		当事業所では、言語聴覚士や作業療法士、保育士、児童指導員が支援を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく過ごしやすい環境になっており、お子さんの特性に応じた配慮がなされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
適切な 支援の 提供	4	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	5	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		お子さまの状況や保護者様からのご意見をふまえて、また必要に応じてアセスメントを行いながら、個別支援計画を作成しております。今後もお子さまの成長に沿った支援ができるよう努めてまいります。
	7	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」で示す支援内容から、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		お子様のニーズや困り感に合わせて活動を考えるようにしています。一つの目標に対してもアプローチを変えて支援するなど、お子さまが飽きないように工夫しています。
	10	地域に出て活動するような機会があると思いますか。	44%	31%	0%	25%		当事業所は、おひとり1時間の個別指導という性質上、中々外に出て活動するという機会は少ないのが現状ですが、祝日等に実施している小集団での活動の際、近くの神社や公民館に出かけていくこともあります。
	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		運営規定、支援プログラム、利用者負担につきましては、初回契約時にご説明しております。
	12	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	事業所では、必要に応じて保護者向けの研修会の案内や情報提供などの家族支援・兄弟支援が行われていると思いますか。	81%	6%	0%	13%		保護者の皆様に役立ちそうな研修会などのご案内は適宜LINE等にてお知らせさせていただいております。また、ご兄弟への支援につきましては、ご希望された場合にご兄弟も交えた療育を実施する等の支援を行なうことがあります。

保護者への説明等	14	事業所とは、日頃からこどもの状況を伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	15	必要に応じて、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94%	6%	0%	0%	面談等のご希望や必要に応じて随時実施しております。また、送迎の際に保護者の方々からお聞きした困りごとには、即対応するように努めておりますので、遠慮なくお申し付けください。
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	17	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されており、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	ご相談についてはご利用日以外であっても、お電話やLINEにて随時受け付けております。家庭訪問も可能です。ご相談や申し入れが合った際には、迅速に対応いたしますので、どうぞご遠慮なくご連絡ください。
	18	こどもや保護者と必要な時に即連絡を取り合うことが出来るような、意思疎通や情報伝達のための手立てが確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	らいく古賀店では、ご利用の皆様とLINEでのやりとりを行っております。欠席等の連絡から何かあった時の相談まで、どのような時でもご活用ください。
	19	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていると思いますか。	50%	25%	0%	25%	らいく古賀店では、適宜ホームページやInstagramなどによる情報発信を行っております。
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	個人情報には注意して取り扱っております。
非常時等の対応	21	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。	81%	6%	0%	13%	令和5年度より「防災のしおり」を作成し、災害や感染症への対応についてご利用者の皆様にお知らせしております。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは策定し掲示しておりますので、皆様にご覧頂けるよう、重要事項の説明をする際に併せて掲示物の説明をして参ります。
	22	事業所では非常災害の発生に備え、定期的に避難等、必要な訓練が行われ安全の確保が十分なされた上で、支援が実施されていると思いますか。	88%	0%	0%	13%	避難訓練等につきましては、個別指導という性質上、利用者全員での実施は難しいため、今年は職員のみで緊急時対応マニュアルに沿って避難経路等を確認し役割分担するなどしております。
	23	些細であっても、怪我等と思いがけない出来事が発生した際には、その際の状況等について速やかに連絡や説明がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	療育中には怪我等無いよう細心の注意を払っておりますが、思いがけない出来事が起きた場合は、必ずお迎えの際にご説明しております。
満足度	24	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	
	25	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	・楽しく通わせていただいております。ありがとうございます。
	26	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	年々ご利用者が増えていて、毎年どうすれば皆さまのご希望に添える形が作れるのだろうか、工夫をこらしながら日々の指導に当たっております。今後も皆様に満足頂けるような支援を目指して参ります。

公表

事業所における自己評価結果 【児童発達支援】令和7年度

事業所名		良創発達支援ルーム らいく古賀店				公表日	令和8年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	遊具や部屋の使い方を工夫しながら満足して頂けるよう努めています。	法令を遵守した活動スペースを確保していますが、高学年の利用者様には手狭な感じは否めません。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	適切であると感じます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	現状では適切であると考えます。ご利用者様にご不便な点等ございましたら、その都度対応していきたいと思えます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員会議の中で業務を振り返り、問題点の抽出や改善案を挙げ、職員全員、業務改善に努力しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎週の職員会議や定期的な面談での聞き取り等で意見を出しやすい雰囲気をつくってもらっていると感じます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	44%	56%	現在、外部評価は行っておりません。職員一人ひとりが常にご利用者様の利益を保証することを念頭に置き、知識やスキルの向上に努めております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修に参加した職員からの伝達講習や専門職員による内部研修を行っております。また、参考になる情報を得た場合、全員で共有するように努めています。今年度は長崎大学子どもの心の医療・教育センターが主催する高度人材育成プログラムを受講しました。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	実施しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	ご利用者様の状況や保護者様からの要望等、必要に応じてアセスメントを行い、サービス計画を立てるようにしております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	JSI-R、J-MAP、WISC、LCSAなど各種アセスメントツールを使用して多角的に現状を正しく把握し、適切な支援が行えるよう努めております。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%	個別指導の詳細なプログラムの立案は、その日に担当する職員が行っています。少人数グループにおいてはチームで話し合って活動プログラムを立案しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動プログラムは当日のご利用者様のご様子や保護者様からのご相談事等を取り入れながら、臨機応変に実施するようにしています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	個別指導の為、お一人につき職員1人又は2人で指導を行っております。記録を確認したり、必要に応じて事前の打ち合わせを行うようにしています。不定期に季節のイベント等で集団を実施しています。	・基本は個別療育という形態なのでほとんどのお子さんは個別のみですが、必要に応じて小集団での活動も計画しております。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	個別指導の為、お一人につき職員1人又は2人で指導を行っております。記録を確認したり、必要に応じて事前の打ち合わせを行うようにしています。定例会議を木曜に実施し、必要な情報は都度共有しています。今の体制は基本的に1対1で行っている小集団・グループ活動の際はチームで行っていません。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	個別療育の中で気づいたこと等は必ず個人記録に記載しています。また、職員全員で共有すべき事項については申し送り時や会議の中で最善の支援が行えるよう体制を整えております。定例会議を木曜に実施し、必要な情報は都度共有しています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回、活動内容と活動時の様子、今後の課題などを記録しています。記録は次回の支援に生かせるような内容になるよう心掛けています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	児童発達管理責任者を中心に職員全員で行っております。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	ご利用者様の状況に精通した職員が参加しております。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて（保護者の要望に応じて）保育所等訪問を実施しております。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	当事業所は多機能型事業所であり、就学前から学童期、青年期まで継続した支援を行っております。 必要に応じ、関係機関との情報共有を行っております。 担当者会議等で情報共有を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	その時々が必要に応じて、各地域の支援センターなど専門機関と連携して助言や研修を受けています。	
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	訪問支援で他のお子様と一緒に活動させて頂くことがあります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	指導終了後には、ご利用者様の様子や課題の内容について報告し、保護者様と共通理解できるよう努めております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ペアレントトレーニングとしては行っておりませんが、保護者様の日常生活での困り事などに対しては、即座に対応するよう努め、不安なく子育てができるように支援することを心掛けています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	実施しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	実施しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	コロナ等感染症対策として今年度は保護者会実施を見送っておりますが、必要に応じて保護者様同士が繋がるような支援をしております。 研修会や行事の際に交流する機会を設けています。 コロナ前に比べると機会は減っていますがイベント開催時等に行っています。	・保護者同士が交流する機会を設けている ・保護者向けの研修を実施した際に保護者同士の交流ができる時間を設けました。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	実施しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	保護者様へはLINE・ホームページ・インスタグラム等を活用し、その都度情報を発信しています。	・SNSの更新頻度は少ないのが現状です。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	取り扱いには十分に注意しております。		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	LINE等を使いながら、意思の疎通や情報伝達に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	78%	22%	コロナ時期が明け、ようやく地域のお祭りや子ども会行事に対して協力できることは協力しております。	当事業所はその性質上地域の方々を招待するような行事は開催しておりません。今後、地域の方々も参加して頂ける研修会の開催や地域の文化祭などに参加できないか等検討したいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	全てのマニュアルを作成し玄関に掲示しております。また、防災マニュアルを作成し保護者の皆様へお配りしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	89%	11%	当事業所の性質上、食事の提供をする機会は多くありません。食べ物を提供する際は、保護者様にアレルギーの有無をお尋ねして対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		・パンフレットを配布して
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットが起きた場合、記録を残して、今後の対応策をスタッフ全員で共有し、再発防止に努めております。 職員会議等で定期的な確認をするだけでなくそのような事象が生じたセッションの終わりに職員全員に共有することが出来ています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	担当職員が研修を受け、それを職員全員が周知できるよう伝達講習を行ってます。	重要事項説明書に記載しており、保護者様には必ず説明し了解を得るようにしています。現在のところ、そのような事例は発生しておりません。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	89%	11%	重要事項説明書に記載しており、保護者様には必ず説明し了解を得るようにしています。現在のところ、そのような事例は発生しておりません。		